

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東海北陸地区（主担当大学：名古屋大学）
事業名	RDAに関する研修会
事業目的・趣旨	AACR2にかわる新たな目録規則が制定されてから5年以上が経過した。本研修会は、FRBR（書誌レコードの機能要件）モデルの概説を含め、RDAの入門的な内容を学ぶ機会とする。
実施内容	開催日時：平成28年9月16日（金）10:30～17:00 会場：名古屋大学附属図書館5階多目的室 主催：東海北陸地区国立大学図書館協会 講師：帝塚山学院大学教授、公益社団法人日本図書館協会目録委員長 渡邊 隆弘 氏 内容： 1) FRBRモデル概説 2) RDAの全体構成と特徴 3) RDA各章の実際と特徴 4) RDAデータの実際、新NCRのRDA対応等
事業の成果 （アンケート調査 結果、事業への意 見・感想等）	参加者数 11大学51名 <アンケート調査結果（40名回収）> 大変満足：10名 満足：27名 普通：2名 無回答：1名 <主な感想> ・日常業務の中でFRBRを意識することがないため、RDAを理解するうえで基礎となることを知ることができた。 ・FRBRモデルについても詳しく説明していただいたので、RDAを理解するのに役立った。 ・次年度もNACSIS-CATの動向や新NCRなど目録・整理系の研修が行われることを期待したい。 <事業への意見・感想> RDAについて基礎知識を得る良い機会となった。アンケートでは、NACSIS-CATの動向や新NCRなど目録・整理系の研修要望が寄せられていることなどから、助成事業の継続を要望する。
経費	講師謝金・旅費 62,820円 雑費 850円 合計 63,670円